

令和2年度(令和元年度実施事業分)事務事業評価評価票

No. 27-020

PDCA	事務事業名	中学校空調機設置事業	部課等名	教育部 学校教育課 総務担当	担当	田中(文)
					内線等	517
P 総合計画との関係性等	政策体系	章 第5章 育ち合い共生を進めるまち 節 第1節 学校教育の充実 基本施策： 1. 義務教育 単位施策： (5) 安全・安心な学校づくりの推進 個別施策： ①校舎、体育館等の改修改築				
	根拠法令等					
	対象・目的	中学校の普通教室に空調設備を設置することで、暑さ対策を強化し、生徒の安全を確保するとともに教育環境の向上を図る。				
	目的を達成するための手段・活動内容	生徒達の安全確保を最優先とし、令和元年度の夏から機器使用を開始できるよう、中学校との十分な調整を図り工事を行う。				
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	29年度	30年度	元年度	: 単位
		空調機を設置工事をする部屋数の実施設計		113	113	室
		空調機を設置工事		113	113	室
		事業費		314,604	309,064	千円
		人件費		1,562	1,242	千円
		総事業費		316,166	310,306	千円
		活動単位当たりのコスト	29年度	30年度	元年度	: 単位
					千円	
					千円	
					千円	
	成 果	成果指標	29年度	30年度	元年度	: 単位
		①事業進捗率（実施設計委託）	実績値		100	%
			目標値		100	
		②事業進捗率（空調機設置工事）	実績値		50.0	100
目標値				50.0	100	
③事業進捗率（工事監理委託）		実績値		50.0	100	%
	目標値		50.0	100		
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性	
		①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 大きい	⑦コスト削減余地 ない		
		②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の余地 ない			
		③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ある	⑧受益者負担適正化余地 ない		
A 課題解決のための目標	事業の評価・課題	A 国の臨時特例交付金を活用するとともに、早期工事完了に向け、学校と施工業者との調整を適切に行い、7月にエアコンを使用開始することが出来た。				
	今後の事業の方向性	終了				
	令和2年度の目標	成果指標	02年度	: 単位		
	①	目標値				
	②	目標値				
	③	目標値				